質　　疑

発言者　　藤　沢　やよい

発　言　の　要　旨（その１）
１　政治姿勢について
(1) 高松港の特定利用空港・港湾指定
①　安保３文書は、敵基地攻撃能力保有と空前の大軍拡によって、実践面で戦争国家づくりを推進しようとしていると考えるが、市長の認識
②　自衛隊などが普段から訓練として高松港を使用することになれば、周辺住民の生活に与える影響は甚大で、有事には真っ先に攻撃の対象になると考えるがどうか。
③　県内観光と離島交通の拠点である高松港を、自衛隊などが円滑に利用できるとする特定利用港湾の指定に合意しないことを、県に求めるべきと考えるがどうか。
(2) 自衛官募集への自治体協力
①　一人一人の子供の人格を尊重し、市として義務でない名簿提供はやめるべきと考えるがどうか。
②　名簿提供する場合は、本人または保護者に同意を得られた人に限定すべきと考えるがどうか。
③　名簿提供していることや除外申請ができることを、本人・保護者に学校現場を通じて周知する考え
(3) 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練
①　本市として、戦争を想定して生徒まで巻き込んでの訓練は、すべきではないと考えるがどうか。
②　戦争の危機感をあおるより、平和教育を通じて示すことが必要と考えるがどうか。
２　国民健康保険について
(1) 独自に実施したアンケート結果から、市民が切望している高すぎる国民健康保険料を一般会計から法定外繰入れを行い、引き下げるべきと考えるがどうか。
(2) 県内において、本市の資格証明書交付率が高いことに対する受け止めと、資格証明書の交付をやめるべきと考えるがどうか。

発　言　の　要　旨（その２）
(3) 紙の保険証を存続すべきと考えるがどうか。
(4) 子供の均等割を市独自で高校生まで免除する考え
３　交通政策について
公共交通空白地域における需要に合わせた移動手段の確保の考え